

度会広域連合という、 選択。



令和 7 年度採用

度会広域連合職員採用案内

1. 「組織」の概要

度会広域連合は平成 11 年にできた特別地方公共団体です。

南伊勢町・大紀町・度会町役場の仕事の一部を、業務として担当しています。

身分は地方公務員になります。

組織の特徴は、

「協働する組織」ということ。

構成町役場、事業所、医療機関、そして住民の方々。

いろんな方と支え合い、地域の力を最大化します。

その仕事の過程でいろんな方の人生に触れることができ、それが自分たちの育ちにつながります。

「手ごたえがある組織」ということ。

自分たちで決め、自分たちで行動することを尊重しています。

自分たちの行動により身近な方の生活が良くなっていく…その結果を直接受け取ることができる組織です。

いろんな人に会える、いろんな人と創れる。

それが楽しいと思える方は、ぜひ一緒に働きましょう！

2. 「仕事」の概要

今は福祉行政の仕事をしています。

具体的には介護保険法と障害者総合支援法における「認定業務」のほか、

「介護保険事業所の指導業務」も担当するようになりました。

これから人口減少が加速していくこの地域において、南伊勢町・大紀町・度会町がもつ豊かさを増やすため、度会広域連合は業務を拡大していきます。

(主な業務内容)

① 審査会の運営

審査会は、医師をはじめ、医療・保健・高齢者福祉・障害者福祉の専門職の方々に構成されています。毎週開催される審査会に事務局員として出席し、スムーズに審査が行えるように資料を整えたり、司会のお手伝いをしたり、審査結果をまとめたりします。

② 認定調査の実施

審査会に報告する資料のひとつが認定調査です。審査会委員が審査しやすい認定調査資料をつくります。具体的には、高齢者や障害者のもとを訪れて、お体の様子や生活の様子などを1~2時間程度かけて聴きとります。そして、その内容をパソコンで文章にまとめます。

③ 審査会に関する事務

認定申請書の受付や医師に記載いただく書類の收受、認定調査を実施する日程の電話連絡、審査会委員や認定調査員の研修などを行います。

④ 介護保険事業所の指導業務

高齢者の自立支援と尊厳の保持を念頭におき、質の高いケアが提供されるように、また、法令等を守ったケアが提供されるように情報提供し、事業所を支援します。

具体的には、構成3町内の介護保険事業所に集まっていたいただき必要事項を周知したり、構成3町内の介護保険事業所にお邪魔して書類などを確認して必要な助言を行ったりします。これらの業務を通じて、事業所がイキイキと活躍できる地域をつくります。

⑤ 地域づくりの業務

南伊勢町・大紀町・度会町役場の職員や関係機関の職員と会議をし、この地域が暮らしやすくなるような役割分担や制度設計を行います。

3. 「試験」の概要

1. 募集職種	一般行政職
2. 募集人数	2名程度
3. 一次試験日	8月25日
4. 二次試験日	9月27日

* くわしくは、「令和7年4月採用予定 度会広域連合職員募集要領」をご覧ください。

4. 「職場説明会」の概要

1. 日にち	6月28日 or 7月12日
2. 時間	13:00 ~ 15:00
3. 内容	① 仕事内容説明 ② 若手職員との座談会
4. 定員	各10名(定員になり次第受付終了)

5. 「職場体験会」の概要

1. 日にち	7月17日 ~ 19日
2. 時間	① 7月17日 … 8:30 ~ 12:00 ② 7月18日 … 13:00 ~ 16:00 ③ 7月19日 … 8:30 ~ 12:00
3. 内容	① 要介護認定調査の体験 ② 要介護認定審査会の体験 ③ 担当者会議の体験
4. 定員	各3名(定員になり次第受付終了)
5. その他	①②③いずれかのみでの申し込みもできます

6. 「職員」の INTERVIEW

現在、度会広域連合では 14 名の職員が働いています。正規職員は男性 5 名、女性 4 名です。そして会計年度任用職員として女性 5 名も活躍しています。

そのなかで、新人職員、民間企業からの転職者、子育て世代の職員…それぞれの立場からみた「職場」を聞いてみました。

蓄積してきた専門性を拠り所として、 住民の暮らしや事業所の営みを 支える職場です



令和 4 年 5 月に入庁。
障害福祉事務を経て、今年度より
要介護認定業務の主担当となる

【 志望動機 】

「育ててもらった地域のためになる仕事がしたい」「課題に対して解決策を自ら考えるような仕事がしたい」という思いを持っていたため、度会広域連合の職場説明会に参加しました。そこで「行政とは言え、定型業務ばかりではない」「構成町が何を必要としているかを常に考え、業務内容を変化させている」という特色を知り、ここで働きたいという思いがさらに強くなったことを覚えています。

【 今のやりがい 】

今年から介護認定分野の主担当として「自分達の要介護認定業務の質や量はどうか？」「地域の現状や課題は何か？」を評価するほか、それに対する解決策を提示し、実行することが業務になりました。現在はその準備段階であるため、まだ目に見えたやりがいは得られづらいのですが、自分達のプロジェクトが功を奏した際に、途轍もない大きなやりがいを感じられると考えています。



令和 3 年 4 月に民間を経て入庁。
総務を担当しながら、社会福祉士資格も取得。総務と福祉で働くマルチワーカー。

地域の住民や福祉に関わる色々な方と 関われる職場です。

【 民間との違い 】

業務の目的が、利潤の追求ではなく、住民や地域の利益であることが大きな違いと考えています。また、民間で働いている時はあまり意識していませんでしたが、財源が大切な税金であることから、予算の執行等お金について、より厳格な管理と適切な執行が求められていると感じています。

【 志望動機 】

民間で総務や製造管理等に従事していましたが、変化が少なく、何か新しいことに挑戦してみたいと思っていました。そんな中、度会広域連合の募集を見つけ、家から近く、地域に密着した仕事ができることに魅力を感じたことと前職での経験も生かせるのではないかと思い応募しました。

子育て真っ只中の職員が多いです！



令和 3 年 4 月に民間を経て入庁。
自分の好きな福祉を深めたい。高齢者に子供に…とことん「人」と向き合います。

【 志望動機 】

大学卒業と同時に社会福祉士の資格を取得し、以前は他の地域の高齢者施設で働いていました。しかし通勤に往復 2 時間かかっていたため、子育てと仕事を両立させていくことが難しいと感じるようになりました。子育てをしながらも仕事を続けたい！仕事をするなら自分の学んできた分野である福祉の仕事がしたいと思い、自宅から近いこの職場に応募しました。

【 子育ての仕事の両立 】

昨年一年間、産休育休を取得していました。現在は育児短時間勤務で働いています。共働きなので子どもたちのことや家庭のことが共有できるように園の荷物のチェックリストを作成したり、夕食の献立を一緒に考えながら食材の買い出しをしたりと夫と協力しながら仕事と家庭を両立させています。職場には私以外にも子育て中の職員がたくさんいるので子育ての悩みを相談したり、子どもの看病や園の行事などで休みを取ることに理解してもらえ、とてもありがたい環境で仕事ができています。